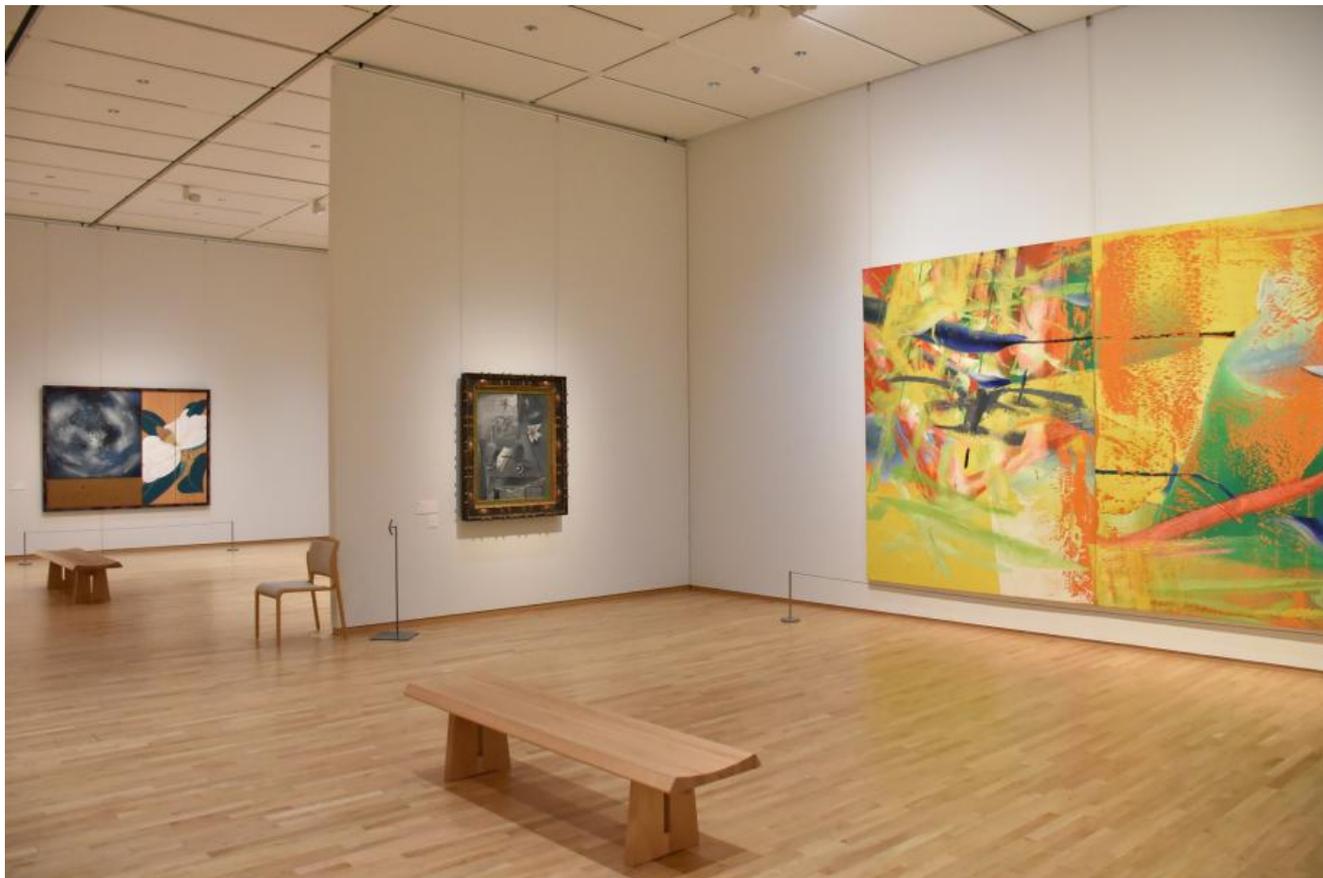


令和7年4月24日

【富山県美術館】コレクション展第1期開催 について

富山県美術館では、令和7年4月24日（木曜日）から7月29日（火曜日）まで、2階の展示室1において「コレクション展 第1期」を開催しておりますので、ご案内いたします。



概要

会場：富山県美術館 2階 展示室1

会期：令和7年4月24日（木曜日）から7月29日（火曜日）
（※）年間スケジュールに記載の終了日から変更になりました。

休館日：毎週水曜日（ただし4月30日は開館）、7月22日（火曜日）

展示内容と見どころ

「作品をとりまく3つの視点—サイズ・制作年・モチーフ」をテーマに「サイズ」、「制作年＝1991年」、「モチーフ＝人のすがた」の3つの章から当館のコレクションをご紹介します。「サイズ」では、絵画作品の表現の幅の広さをキャンバスの規格サイズに注目して紹介します。「制作年＝1991年」では、1991年に制作された作品のみを集中的に展示し、ある一時代の美術の展開を概観できる機会とします。「モチーフ＝人のすがた」では、人物像だけではなく、人のすがたが含まれた作品から、作者のモチーフへの向き合い方や、ひいては作品とその前に立つ私たちがどのような感情を作品に喚起されるかを考えます。

主な展示作品（順不同）

「サイズ」

- ・ ゲルハルト・リヒター 《オレンジリー》
- ・ 辰野登恵子 《UNTITLED 95-6》
- ・ パブロ・ピカソ 《静物》

「制作年＝1991年」

- ・ 今井俊満 《鯉のぼり》
- ・ 横尾忠則 《飛び出せ怨霊》
- ・ 吉澤美香 《にー24》

「モチーフ＝人のすがた」

- ・ ジョルジュ・ルオー 《パシオン》
- ・ 高松次郎 《赤ん坊の影》
- ・ デイヴィッド・ホックニー 《髪を梳かすアン》

観覧料

コレクション展：一般 300 円（240 円）（）内は 20 名以上の団体料金

【次の方は観覧無料】

- ・ 小・中・高校生と大学生、70 歳以上の方
- ・ 学校教育、社会教育活動としての児童・生徒の引率者（観覧料免除申請書の提出が必要）
- ・ 各種手帳をお持ちの障がい者の方（手帳所有の方 1 名につき付き添い 1 名まで無料）

（※）詳しくは、富山県美術館ご利用案内（外部サイトへリンク）（別ウィンドウで開きます）をご覧ください。

コレクション展について

富山県美術館のコレクション展では、前身の富山県立近代美術館から現在までの収蔵作品を展示しています。年 4 回程度、さまざまなテーマによる展示替えを行い、多彩なコレクションを紹介。当館 2 階の展示室 1 では絵画・彫刻を中心とし、3 階の展示室 5 と展示室 6 ではポスターや椅子、富山県ゆかりの瀧口修造やシモン・ゴールドベルクのコレクションを展示しています。



富山県美術館
アート&デザイン